

講義名	キャリアビジネス論		
科目区分	キャリア		
担当教員	小幡 祐可子／前川 明／栗原 正憲／多井 剛／中山 一郎		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2016年度 人間社会学部 人間健康学科／2016年度 人間社会学部 観光学科／2016年度 人間社会学部 人間社会学科／2016年度 経済学部 経済情報学科／2016年度 経済学部 経済学科／2016年度 商学部 マーケティング学科／2016年度 商学部 経営学科／2015年度 人間社会学部 人間健康学科／2015年度 人間社会学部 観光学科／2015年度 人間社会学部 人間社会学科／2015年度 経済学部 経済情報学科／2015年度 経済学部 経済学科／		
履修開始年次	4 年生	単位数	2
		講義コード	43115

主題と概要
キャリアビジネス論は、来年度社会人になる受講生を対象とした授業である。受講生は職業人としての知識・技能、社会人の常識、基本ルール・マナーを身につけておくことが、社会人になる前に準備しておくべきことでもある。この授業は、新入社員としてスムーズに社会人生活のスタートが切れるように社会人としての心構えや意識づけを行い、豊かな体験情報を提供する。さらに残りの学生生活を有意義かつ悔いを残さないためにも、自己を省みることに位置づけている。 授業はオムニバス方式で行い、社会人のマナー・ルールの演習、企業組織の概要、組織管理と人事管理で企業全体の動きやしくみを総括的に理解できるように構成されている。また組織の情報管理、営業の心得、ビジネスパーソンの心得を通して、職業人に求められるスキルの習得方法も含めて、自己啓蒙ポイントとしてわかりやすく説明されることも特徴の一つである。

到達目標
到達目標は、社会人基礎力の行動力・コミュニケーション力・問題を考える力に対し、自己分析、自己評価すること。また社会人としてどんな目標を設定するのか、プランニング知識と技術を学ぶことによってキャリアデザインのイメージづくりが可能になること。さらに学生時代にしかできない積み残し課題を受講生に気づかせることである。

提出課題
授業で行った講義、ケース課題やワークアウトについて、ミニレポート形式で随時提出する。最終講義でまとめとしてのレポートを作成する。

評価の基準
評価方法は、平常レポート（75％）、レポート試験（25％）とする

履修にあたっての注意・助言他
積極的に授業へ参加し、コミュニケーション能力や問題解決能力、リーダーシップ向上につながることを期待する。

教科書
.教科書なし.

プリント資料及び参考文献
授業中にプリント資料を配布する。 参考書は授業の中でその都度紹介する。

授業計画
1 イントロダクション／フレッシュにデビューしよう （前川） 2 ビジネスマンになるためのマナー（１）（小幡） 3 ビジネスマンになるためのマナー（２）（小幡） 4 ビジネスマンに求められるコミュニケーション(1)(前川) 5 組織と人事管理（１）（前川） 6 組織と人事管理（２）（前川） 7 会社と仕事の仕組みを知る（１）（中山） 8 会社と仕事の仕組みを知る（２）（中山） 9 先輩のメッセージ（前川） 10 情報管理（１）（多井） 11 情報管理（２）（多井） 12 営業の心得（１）（栗原） 13 営業の心得（２）（栗原） 14 ビジネスマンに求められるコミュニケーション(2)(前川) 15 まとめ&レポート試験（前川）

予習・復習
毎日、新聞や本を読んだり、あるいはTVニュースを見たりという習慣をつけてください(最低でもトータルで一日1時間)。その中で特に「キャリア」「ビジネス」「人事」「情報」「営業」などといった分野の記事やニュースをチェックしてください。授業の中で、それらを発表してもらったり、ミニレポートを提出してもらったりします。

備考